

No.	002	—	2009	事務事業名	高齢者世帯交通安全指導事業						公的関与	1	
PLAN	課名	危機管理課		係名	防災安全係		電話番号	089-964-4483		メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	平成 20 年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	6 防犯・消費生活・交通安全対策の充実		主要施策	4 交通安全対策の総合的推進				
	事業の目的	交通安全指導のほか、防災及び防犯について知識の普及啓発を図るため。						根拠法令等					
	事業の手段	高齢者交通・防災セーフティアドバイザーが75歳以上の高齢者宅訪問を行います。						掲載計画					
達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
	訪問面談実施率		全対象者への啓発指導を目指します。(訪問世帯数/対象世帯数)			%	目標	100	100	100	100		
							実績	89	71				
							目標						
							実績						
							目標						
						実績							
活動内容	①	交通安全に関する資料の配布と説明					④						
	②	交通相談					⑤						
	③	防犯対策及び防災・減災に関する指導、避難場所等の確認											
予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費		
直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	3,061千円	3,480千円	3,849千円									
計(A)	3,061千円	3,480千円	3,849千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.040人	250千円	0.119人	743千円	0.200人	1,241千円						
	臨時職員工数・経費	1.477人	2,935千円	1.537人	3,048千円	1.500人	2,969千円						
全体事業費(A+B)		6,245千円	7,271千円	8,058千円									
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	高齢者の交通事故等を防止するため、交通安全指導をはじめ、防災・防犯対策についても指導していく必要があります。												
有効性	交通安全だけでなく、防犯、防災、さらには市政全般に係る相談も受けるなど、事業の継続は有効であると考えます。												
達成度	留守等で面談できない家もありますが、概ね目標を達成していると考えます。												
効率性	交通安全、防災、防犯等より総合的な高齢者指導を実施します。												
当面の課題	今後75歳以上の人口増加による訪問件数の増加が見込まれるため、訪問体制の検討を行う必要があります。												
改計画	訪問によるアンケート結果や交通事故等の発生状況を踏まえ、今後の訪問体制を検討します。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	訪問内容については、現状で特に問題はないと思われま。後は、訪問の記録方法を検討し、個人情報に注意しながら関係各課で情報共有できるシステムの構築が望まれます。												

No.	002	—	2018	事務事業名	自主防災組織育成事業				公的関与	9			
PLAN	課名	危機管理課		係名	防災安全係		電話番号	089-964-4483		メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	3 防火・防災意識の高揚と自主防災組織等の育成				
	事業の目的	地域の住民が自発的に防災活動を行う組織の育成、強化に努めるため。						根拠法令等					
	事業の手段	各自主防災組織において、訓練や防災資機材購入等に係る費用に対し補助金を交付します。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
			指標設定になじまない				目標						
							実績						
							目標						
							実績						
						目標							
DO	活動内容	①	自主防災組織育成事業補助金の交付				④						
		②	防災士資格取得支援				⑤						
		③	自主防災組織活性化支援事業補助金の交付										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	480千円	360千円	440千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	300千円	2,000千円	0千円								
		一般財源	1,206千円	759千円	2,360千円								
	計(A)	1,986千円	3,119千円	2,800千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.353人	2,203千円	0.476人	2,973千円	0.450人	2,792千円						
	臨時職員工数・経費	0.050人	99千円	0.177人	351千円	1.600人	3,166千円						
全体事業費(A+B)		4,288千円	6,443千円	8,758千円									
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	地域の防災力向上を図るため、必要な事業であると考えます。												
有効性	防災士の資格取得者の増加や地域防災力の向上に繋がるため、有効であると考えます。												
達成度	自主防災組織内の防災士数は増加していますが、補助事業については利用が少なくなっています。												
効率性	地域防災力向上のために適正な運用ができていると考えます。												
当面の課題	コロナ禍等で自主防災組織の活動が制限され、補助金などの活用まで至らない場合が考えられます。												
改革計画	コロナ禍での訓練を啓発していき、地域防災力の向上に努めます。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	自主防災組織は35全自治区に設置され、これまで組織の充実が図られてきました。今後は、台風等発生時に自主避難所の設置などに積極的に取り組んでもらえるよう自主防災組織全体の意識改革が必要と思われます。												

No.	002	—	2022	事務事業名	避難所整備強化事業						公的関与	2	
PLAN	課名	危機管理課		係名	防災安全係		電話番号	089-964-4483		メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 30 年度 ~ 令和6年			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	1 総合的な防災・減災対策の充実				
	事業の目的	南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるため。						根拠法令等					
	事業の手段	避難所の資機材整備を行います。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標		
				指標設定になじまない			目標						
							実績						
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	避難所用資機材の購入				④						
		②					⑤						
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防		費				
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	424 千円	0 千円								
		一般財源	10,269 千円	8,717 千円	11,645 千円								
	計(A)	10,269 千円	9,141 千円	11,645 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	1.060 人	6,615 千円	1.060 人	6,621 千円	1.100 人	6,824 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		16,884 千円	15,762 千円	18,469 千円									
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	災害発生時の避難所における生活環境の向上のため、必要な事業であると考えます。												
有効性	市民の安全と安心を確保し、防災・減災対策を行う上で有効であると考えます。												
達成度	5箇年計画で避難所の資機材を整備しており、概ね目標を達成しています。												
効率性	定期的に避難所用資機材の整備を行っていきます。												
当面の課題	新型コロナウイルスの影響もあり、新たに必要な資機材等、避難所での整備する資機材の見直しが必要になりました。												
改計画	今後、計画の見直しを行い感染症対策の資機材等を整備していきます。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	新型コロナウイルス感染症対策として、避難所の収容人数を見直した結果、資機材の見直しが必要となりました。今後は、見直された資機材の計画的な購入を行う必要があります。また、購入した資機材の在庫管理を徹底する必要があります。												